

令和 7 年 度
第 2 学 年 用

「指導と評価の年間計画」(シラバス)



岐阜県立大垣北高等学校

〒503-0017

岐阜県大垣市中川町4丁目110番地の1

電 話 < 0584 > 81-2244 (代表)

FAX < 0584 > 74-8165

<https://school.gifu-net.ed.jp/ogkkita-hs/>

目 次

教 科	科 目
	評価の観点の趣旨 1
国 語	論理国語（理系） 5 論理国語（文系） 6 文学国語 7 古典探究 8
地理歴史	地理総合 9 歴史総合（理系） 10 歴史総合（文系） 11 日本史探究 12 世界史探究 13
数 学	数学Ⅱ（理系） 14 数学Ⅱ（文系） 15 数学Ⅲ 16 数学B 17 数学C（理系） 18 数学C（文系） 19
理 科	物理 20 化学基礎（理系） 21 化学基礎（文系） 22 化学 23 生物 24
保健体育	体育 25 保健 26
外国語 （英 語）	英語コミュニケーションⅡ . . 27 論理・表現Ⅱ（理系） 28 論理・表現Ⅱ（文系） 29
情 報	情報Ⅰ 30
総合的な 探究の時間	SD探究2 31

		評価の観点の趣旨		
		知識・技能（技術） a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
国語	論理 国語	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
	文学 国語	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の言語文化に対する理解を深めることができる。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
	古典 探究	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、日本の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、日本の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
地理 歴史	地理 総合	地球規模の自然システムや社会・経済システムに関する理解を深めるとともに、調査や地図・統計などの諸資料から、地理に関する情報を、地理情報システムなどを用いて効果的に収集・読み取る・まとめる技能を身に付ける。	地理に関する諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、地域等の枠組みの中で概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、地域に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりするとともに、考察・構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付ける。	地球規模の自然システムや社会・経済システムについて主体的に調べ分かつて課題を意欲的に追究したり、より良い社会の実現を視野に地球的、地域的課題を意欲的に追究する態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を養う。
	歴史 総合	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしているとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。

	日本史探究	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	日本の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。	日本の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしているとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
	世界史探究	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論することができる。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとしているとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、日本の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めようとしている。
	数学Ⅱ	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えに着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用し、粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとしている。
数 学	数学Ⅲ	極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力、いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとしている。
	数学B	数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとしている。

	数学C	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとしている。
理 科	物理	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	運動やエネルギーの概念を正しく理解し、物理的な考え方を身に付けた上で、物理現象の原因をより深く思考できる。実験結果を科学的に考察し、仮説を検証しながら科学的に表現する力を身に付けている。	身の回りの物理現象に興味関心を持ち、課題や実験に対して、周囲と協力しながら主体的に取り組み、科学的な態度で問題を意欲的に解決しようとしている。
	化学 基礎	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。
	化学	化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。
	生物	生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けている。	生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を正しく理解し、生物的な考え方を身に付けた上で、生物現象の原因をより深く思考し、正しく説明することができる。	身の回りの生物や生物現象に興味関心を持ち、課題や実験に対して、主体的に取り組み、科学的な態度で問題を意欲的に解決しようとしている。
保 健 体 育	体育	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性についての知識と技能を身に付けている。	運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、仲間とコミュニケーションを取りながら運動を実践できる。	継続して運動に親しむために、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、安全に留意するなど主体的に取り組もうとしている。
	保健	多様な健康の考え方、感染症、生活習慣病、がん、喫煙、飲酒、薬物乱用、精神疾患などの健康課題とそれらの対策を理解している。また事故や熱中症などのおこる要因を理解し、予防する知識と実践力を身に付けている。	現代社会と健康について課題を発見し、健康的な生涯を過ごすために、解決の方法を考え実践できる能力を身に付ける。交通事故や熱中症などの回避方法を考え、それらを伝えることができる。	現代生活と健康についての学習に主体的に取り組む、安全な社会生活についての学習に主体的に取り組もうとしている。

英語	英語コミュニケーションⅡ	新出語や Key Phrases の言語材料、本文の論理展開を理解している。 各 Part 本文の内容について、事実や自分の考えを整理し、新出語や Key Phrases の言語材料を用いて、本文の内容を再生したり、自分の意見を話したり書いたりする技能を身に付けている。	本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつながり表現を用いて話したり書いたりしている。 本文に関連したテーマについて、学習した機能表現を用いて、自分の意見を話したり書いたりしている。 聞き取った内容に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合ったり、学習した語句や表現を用いて書いたりしている。	本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつながり表現を用いて話したり書いたりしようとしている。 本文に関連したテーマについて、学習した機能表現を用いて、50 語以上で自分の意見を話したり書いたりしようとしている。 聞き取った内容に関連したテーマについて、事実や自分の考えを整理して、ペアで話し合ったり、学習した語句や表現を用いて書いたりしようとしている。
	論理・表現Ⅱ	英語の特徴やきまりに関する事項、話の展開のしかたや論理構成について理解している。 実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを伝える、また、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、意見や主張などを論理構成や展開を工夫して伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して伝えている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理の構成や展開を工夫して伝えようとしている。 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝えようとしている。
情報	情報Ⅰ	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め、情報社会と人との関わりについて理解している。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用することができる。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画しようとしている。

(学習評価について)

上記に記載した各教科・科目ごとに示された三つの観点(「知識・技能(技術) a」・「思考・判断・表現 b」・「主体的に学習に取り組む態度 c」)に基づき、学習内容のまとまり(定期考査までの学習のひとまとまり)ごとに評価を行い、それらを総括して前期末は10段階評価、学年末は10段階評価及び5段階評定による評価を行います。

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	国語	科目名	論理国語	学年 (文理)	2年 (理)	単位数 (合計)	1 (35)※学習効果を高めるため、下表の指定時期に期間履修とする。 なお、当該時期については、週2時間で授業を行う。
使用教科書		探求論理国語(桐原書店)		補助 教材	大学入試に出た核心漢字 2500+語彙 1000 (尚文出版) トータルサポート新国語便覧 (大修館書店)		
指導目標		実社会でのコミュニケーションに必要な国語の知識や技能を身に付けると同時に、論理的に書いたり批判的に読んだりする資質能力の育成することで問題解決能力を伸ばす。また、言葉がもつ価値への認識を深め、他者と伝え合う態度を養う。					
月	領域・時間		主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点			評価方法
	書	読					
4 5	2		対比構造と キーフレーズ 「集落の創造」	・文章の効果的な組み立て方を理解し、対比構造を使った文章を作成している。【a】 ・自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。【b】			行動観察 提出物点検
		2		・内容や構成、論理展開を的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。【b】 ・学習した論理展開の方法を本文中で理解し、自己の表現に生かそうとしている。【c】			
	文学国語集中受講						
6		1	前期中間考査				
	文学国語集中受講						
7	3		実用的な文章Ⅰ 「観光地紹介を書く」	・文章の効果的な組み立て方の理解を深めている。【a】 ・立場の異なる読み手に共感を得られる文章を作成している。【b】 ・国語と実社会の関わりを捉えようとしている。【c】			行動観察 提出物点検
	文学国語集中受講						
8 9	2		具体例の働きと 効果的な表現	・情報の抽象度を階層化して整理し、具体例の働きを使った文章を作成している。【a】 ・自分の主張が明確になるよう論拠を吟味している。【b】			行動観察 提出物点検
		2	『もどかしさ』の融合」	・内容や構成、論理展開を的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。【b】 ・学習した論理展開の方法を本文中で理解し、自己の表現に生かそうとしている。【c】			
	2		効果的な表現と 対比構造	・言葉の認識や説明を支える役割を理解し、修辭法を使った文章を作成している。【a】 ・自分の主張が的確に伝わるよう表現を吟味している。【b】			行動観察 提出物点検
		2	「博物館というメディア」	・内容や構成、論理展開を的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。【b】 ・学習した論理展開の方法を本文中で理解し、自己の表現に生かそうとしている。【c】			
		1	◆前期末考査				
10		6	評論読解演習 「暴力はどこからきたか」	・文章の構成や論の展開に注意し、評論文の内容を的確に捉えている。【a・b】			行動観察 提出物点検
	1			・現代における社会・共同体に関する問題への理解を深めている【c】			
11	文学国語集中受講						
		1	◆後期中間考査				
12	文学国語集中受講						
1 2	2		キーフレーズと 具体例の働き 「現実・相貌・物語」	・情報と情報の関係への解を深め、キーフレーズを使った文章を作成している。【a】 ・自分の主張を支える適切な根拠を揃えている。【b】			行動観察 提出物点検
		2		・内容や構成、論理展開を的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。【b】 ・学習した論理展開の方法を本文中で理解し、自己の表現に生かそうとしている。【c】			
		4	評論読解演習	・文章の構成や論の展開に注意し、評論文の内容を的確に捉えている。【a・b】			行動観察 提出物点検
	1		「ドローン兵器とSNS」	・プライバシー問題への理解を深め、日本の現代の課題を捉え直そうとしている。【c】			
		1	◆学年末考査				

書：書くこと 50～60 単位時間程度(標準4単位) → 書くこと 13 単位時間

読：読むこと 80～90 単位時間程度(標準4単位) → 読むこと 22 単位時間

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	国語	科目名	論理国語	学年 (文理)	2年 (文)	単位数 (合計)	2 (70)※学習効果を高めるため、下表の指定時期に期間履修とする。なお、当該時期については、週2時間で授業を行う。
使用教科書		探求論理国語（桐原書店）		補助 教材	大学入試に出た核心漢字 2500+語彙 1000 (尚文出版)・トータルサポート新国語便覧(大修館書店)		
指導目標		実社会でのコミュニケーションに必要な国語の知識や技能を身に付けると同時に、論理的に書いたり批判的に読んだりする資質能力の育成することで問題解決能力を伸ばす。また、言葉がもつ価値への認識を深め、他者と伝え合う態度を養う。					
月	領域・時間 書 読		主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点			評価方法
4	2		対比構造と キーフレーズ 「集落の構造」	・文章の効果的な組み立て方を理解し、対比構造を使った文章を作成している。【a】 ・自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。【b】			行動観察 提出物点検
	2	・内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。【b】 ・学習した論理展開の方法を本文中で理解し、自己の表現に生かそうとしている。【c】					
	3		文学論文を読むⅠ 「変身に伴う快楽と恐れ ——『山月記』を通じて」	・具体的作品の比較を通じ、筆者が述べたいことを的確に読解することができる。【b】			行動観察 提出物点検
	5	・文学作品の分析を文章化し、他者と意見交流することができる。【c】					
5	文学国語集中受講						
6	1	◆前期中間考査					
	文学国語集中受講						
	3		実用的な文章Ⅰ 「観光地紹介を書く」	・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理している。【a】 ・実社会で役立つ文章作成力を養成する。【b】 ・国語と実社会の関わりを捉えようとしている。【c】			行動観察 提出物点検
7	文学国語集中受講						
8 9	2		具体例の働きと 効果的な表現 「『もどかしさ』の融合」	・情報の抽象度を階層化して整理し、具体例の働きを使った文章を作成している。【a】			行動観察 提出物点検
	2	・内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。【b】 ・学習した論理展開の方法を本文中で理解し、自己の表現に生かそうとしている。【c】					
	2		効果的な表現と対比構造 「博物館という メディア」	・言葉の認識や説明を支える役割を理解し、修辞法を使った文章を作成している。【a】 ・自分の主張が的確に伝わるよう表現を吟味している。【b】			行動観察 提出物点検
	2	・内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。【b】 ・学習した論理展開の方法を本文中で理解し、自己の表現に生かそうとしている。【c】					
	3		実用的な文章Ⅱ 「通信文を書く」	・文章の効果的な組み立て方の理解を深めている。【a】 ・立場の異なる読み手に共感を得られる文章を作成している。【b】 ・国語と実社会の関わりを捉えようとしている。【c】			
	1	◆前期末考査					
10	6		評論読解演習 「暴力はどこからきた か」	・文章の構成や論の展開に注意し、評論文の内容を的確に捉えている。【a・b】			行動観察 提出物点検
	1	・現代における社会・共同体に関する問題への理解を深めている【c】					
	4		文学論文を読むⅡ 「淋しい人間 ——『こころ』を通じて」	・文学作品の多角的な分析を的確に読解することができる。【b】			
	4	・文学作品の分析を文章化し、他者と意見交流することができる。【c】					
11	文学国語集中受講						
	1	◆後期中間考査					
12	文学国語集中受講						
	6		論理的文章読解演習①	・内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。【b】 ・学習した論理展開の方法を本文中で理解し、自己の表現に生かそうとしている。【c】			行動観察 提出物点検
1 ～ 3	2		キーフレーズと 具体例の働き 「現実・相貌・物語」	・情報と情報の関係を理解し、キーフレーズを使った文章を作成している。【a】 ・自分の主張を支える適切な根拠を揃えている。【b】			行動観察 提出物点検
	2	・内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。【b】 ・学習した論理展開の方法を本文中で理解し、自己の表現に生かそうとしている。【c】					
	6		評論読解演習 「ドローン兵器と SNS」	・文章の構成や論の展開に注意し、評論文の内容を的確に捉えている。【a・b】			行動観察 提出物点検
	1	・プライバシー問題への理解を深め、日本の現代の課題を捉え直そうとしている。【c】					
	8		論理的文章読解演習②	・内容や構成、論理展開などを的確に捉え、論点を明確にして要旨を把握している。【b】 ・学習した論理展開の方法を本文中で理解し、自己の表現に生かそうとしている。【c】			行動観察 提出物点検
1		◆学年末考査					

書：書くこと 50～60 単位時間程度 (標準 4 単位) → 書くこと 25 単位時間

読：読むこと 80～90 単位時間程度 (標準 4 単位) → 読むこと 45 単位時間

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	国語	科目名	文学国語	学年（文理）	2年（文理）	単位数 （合計）	1（35）※学習効果を高めるため、下表の指定時期に期間履修とする。なお、当該時期については、文系週3時間・理系週2時間で授業を行う。
使用教科書	探求文学国語(桐原書店)			補助教材	大学入試に出た核心漢字2500+語彙1000(尚文出版)・トータルサポート新国語便覧(大修館書店)		
指導目標	生涯にわたってグローバルな視野を持って社会生活を送るために必要な国語の知識や技能を身に付けると同時に、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で創造的に考える力を伸ばす。また、人や社会とつながるための伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力を養う。						
月	領域・時間 書 読	主な学習内容 （項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点				評価方法
4 5	論理国語集中受講						
	6	「山月記」Ⅰ	・情景の豊かさや心情の機微を表す語感を磨き語彙を豊かにしている。【a】 ・登場人物の行動や心理を的確に把握しながら内容を理解している。【b】 ・人間存在についての考えを深めようとしている。【c】				行動観察 ワークシート等
6 7	1	◆前期中間考査					
	3	小説 「山月記」Ⅱ	・情景の豊かさや心情の機微を表す語感を磨き語彙を豊かにしている。【a】 ・登場人物の行動や心理を的確に把握しながら内容を理解している。【b】 ・人間の存在についての考えを深めようとしている。【c】				行動観察 ワークシート等
	3	活動のプロセス 古典作品を翻案する	・情景の豊かさや心情の機微を表す語感を磨き語彙を豊かにしている。【a】 ・学習した作品の典拠に触れたり、作者の創作手法に迫ったりしている。【b】 ・自身の体験を創作活動へと生かそうとしている。【c】				行動観察 ワークシート等
	論理国語集中受講						
	2	短歌八首	・文学的文章における表現技法について、体系的に理解している。【a】 ・短詩型文学の特質を理解し、作品を読み味わっている。【b】 ・自身の感性や観念の拡充・深化を図ろうとしている。【c】				行動観察 ワークシート等
	2		・韻文の種類や特徴などについて理解を深めている。【a】 ・読解で学習したことを短歌の実作に生かし、工夫ある表現をしている。【b・c】				行動観察 ワークシート等
8	論理国語集中受講						
9	1	◆前期期末考査					
10 11	論理国語集中受講						
	3	小説 「こころ」Ⅰ	・文学的文章や、関連する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。【a】 ・作品構造理解の下に、場面展開や登場人物の心理変化を捉えている。【b】				行動観察 ワークシート等
	1	◆後期中間考査					
12 ～ 3	6	小説 「こころ」Ⅱ	・文学的文章や関連する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。【a】 ・作品構造の理解の下に、場面展開や登場人物の心理変化を捉えている。【b】 ・登場人物の心理変化前後の状況をまとめようとしている。【c】				行動観察 ワークシート等
	3		・言葉には創造や心情を豊かにする働きがあることを理解している。【a】 ・登場人物の心情や情景の描写を、文体や表現の技法等に注意して書き換えている。【b】 ・自己の気づきを客観的に捉えようとしている。【c】				行動観察 ワークシート等
	論理国語集中受講						
	1	◆学年末考査					

書：書くこと 30～40 単位時間程度（標準 4 単位） → 書くこと 8 単位時間

読：読むこと 100～110 単位時間程度（標準 4 単位） → 読むこと 27 単位時間

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	国語	科目名	古典探究	学年（文理）	2年（文理）	単位数（合計）	2（70）
使用教科書	精選 古典探究 古文編（明治書院） 精選 古典探究 漢文編（明治書院）			補助教材	体系古典文法（数研出版）・漢文必携（桐原書店） 核心古文単語 351		
指導目標	言語活動を通して、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深める。また、論理的思考力や共感性、想像力を伸長し、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりを通して自分の思いや考えを広げるとともに、生涯にわたって古典を親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。						
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点				評価方法
4	3	随筆「枕草子」 ・中納言参り給ひて	・動作の主体に注意して本文を精読する。【a】 ・作者の物事に対する考え方を理解し、現代と比較して考える。【b】 ・作品が他の作品に与えた影響について考える。【c】				行動観察 ノート点検 ワークシート等
	4	説話「沙石集」	・登場人物の心情およびその変化に留意して読解する。【a】 ・説話集の性質を理解した上で編者の意図を理解する。【b】 ・歌合の和歌を詠み味わい、解釈や優劣を他者と議論する。【c】				行動観察 ワークシート等
5	5	故事・寓話 ・不死之薬	・本文中の句法を理解した上で本文を読解する。【a】 ・登場人物の発言における主張内容を整理する。【b】 ・中国での故事が日本においてどのように用いられているかを調査・発表する。【c】				行動観察 ノート点検 ワークシート等
6	4	◆前期中間考査					
		故事・寓話 ・五十歩百歩	・本文中の句法を理解した上で本文を読解する。【a】 ・登場人物の発言における主張内容を整理する。【b】 ・中国での故事が日本においてどのように用いられているかを調査・発表する。【c】				行動観察 ワークシート等
7	6	家集 「建礼門院右京大夫集」 ・この世の外に	・助詞の持つ役割について確認し、本文を口語訳する。【a】 ・古語の意味を理解して和歌を精読し、和歌に込められた作者の気持ちを読み取る。【b・c】				行動観察 ワークシート等
8	6	史話・史伝「史記」 ・鴻門之会①	・登場人物を整理して本文を訓読、口語訳する。【a】 ・登場人物の行動から心理や行動の意図を読み取り、内容を理解する。【b・c】				行動観察 ワークシート等
9		◆前期期末考査					
10	8	史話・史伝「史記」 ・鴻門之会②	・登場人物を整理して本文を訓読、口語訳する。【a】 ・登場人物の行動から心理や行動の意図を読み取り、漢文特有のリズムを味わいながら音読をする。【b・c】				行動観察 ワークシート等
11	8	日記「更級日記」 ・門出	・助詞の持つ役割について確認し、本文を口語訳する。【a】 ・日記文学の特徴を理解し、作者の都へ憧れる心情を理解する。【b】 ・作者の考えや文体に意見をもち、自分の言葉で表現する。【c】				行動観察 ワークシート等
		◆後期中間考査					
12	8	物語「大鏡」 ・花山天皇の退位	・敬語の種類への理解を深め、本文を精読する。【a】 ・時代背景や人物関係を把握し、内容を読み取る。【b】 ・歴史物語の特性を理解した上で、登場人物の心情や行動を読み味わう。【b・c】				行動観察 ワークシート等
1	10	物語「源氏物語」 ・小柴垣のもと	・文法や心情を表す単語に注意して本文を正確に口語訳する。【a・b】 ・場面における登場人物の背景や登場人物同士の人間関係に注目した上で、微細な心理変化を読み味わう。【b・c】 ・作品が後世の文化にどのような影響を与えたのか考え、議論する。【c】				行動観察 ノート点検 ワークシート等
2	6	思想 儒家と道家 「論語」「老子」 「荘子」	・句法や語句の意味に注意した上で、正確に口語訳する。【a】 ・それぞれの思想の違いについて理解する。【b・c】 ・古代中国の思想家たちの背景、様々な考え方をまとめ、発表する。【c】				行動観察 ノート点検 ワークシート等
3	2	◆学年末考査					

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	地理歴史	科目名	地理総合	学年	2年	単位数 (合計)	2 (70)
使用教科書	高等学校 新地理総合 (帝国書院) 詳解現代地図 (二宮書店)		補助教材等	サクシード地理 (啓隆社) 新詳地理資料 COMPLETE 2025 (帝国書院)			
指導目標	持続可能な社会づくりを目指し、地理的環境と人間の営みとのかかわりに着目して現代の地理的な諸課題を考察する						

月	時間	主な学習内容 (項目)	主な学習活動 (指導内容) と評価規準	評価方法
4	6	第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	①現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付ける。【a】 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。【b】 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。【c】	考察・発表内容の評価 行動観察
5	7	第2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きなどについて理解する。【a】 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現する。【b】 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。【c】	考察・発表内容の評価 行動観察
6	8	前期中間考査 第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。【a】 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。【b】 ③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。【c】	授業用ノート・プリント、問題集の確認 考察・発表内容の評価
7	5	2節 世界の気候と人々の生活	気温や降水、風などの気候要素は場所によって異なる。人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わり合っており、世界各地ではどのような生活が営まれているかを追究する。【a・b・c】	行動観察
8	2	3節 世界の言語・宗教と人々の生活	世界には、日本とは異なる言語を話す民族が存在し、さまざまな宗教が信仰されている。言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているかを追究する。【a・b・c】	夏季休業課題
9	6	4節 歴史的背景と人々の生活 前期末考査	世界各地の多様な環境の下で育まれてきた生活文化は、さまざまな出来事を積み重ねることによって変化を遂げてきた。歴史的な背景は、人々の生活文化にどのような影響を与えたかを追究する。【a・b・c】	考察・発表内容の評価 行動観察
10	8	5節 世界の産業と人々の生活	人々は、地域の自然環境などを生かして産業を発展させてきた。産業の発展は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。また、産業のグローバル化によって、人々の生活はどのように変化してきたのだろうかを追究する。【a・b・c】	考察・発表内容の評価 行動観察
11	7	第2章 地球的課題と国際協力 1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 後期中間考査	①世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解する。【a】 ②世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。【b】 ③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。【c】	考察・発表内容の評価 行動観察
12	6	4節 人口問題 5節 食糧問題 6節 都市・居住問題	世界で起きている諸問題にはどのようなものがあり、どのような対策が行われているかを探究する。【a・b・c】	考察・発表内容の評価 行動観察
1	6	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災	①さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付ける。【a】 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。【b】 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。【c】	冬季休業課題の確認 授業用ノート・プリント、問題集の確認 行動観察 考察・発表内容の評価
2 3	9	4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え 第2章 生活圏の調査と地域の展望 1節 生活圏の調査と地域の展望 学年末考査	①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解する。【a】 ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現する。【b】 ③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。【c】	問題集の確認 考察・発表内容の評価 行動観察

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	学年（文理）	2年（理）	単位数（合計）	2（70）
使用教科書		明解 歴史総合（帝国書院）		補助教材	新詳 歴史総合（浜島書店）		
指導目標		社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。					
月	時間	主な学習内容（項目）		主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点			評価方法
4	6	1部 歴史の扉 2部 近代化と私たち 1章 江戸時代の日本と結びつく世界		・「大航海時代」から「世界の一体化」への交易の意義と地域の変容を考察することができる【b】 ・江戸幕府が貿易を統制した目的について考察することができる【b】 ・18世紀における清を中心としたアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国との交易について理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察
5	6	2章 欧米諸国における近代化 1 イギリスの革命とアメリカの独立 2 フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け 3 フランス革命の影響と国民意識の芽生え		・イギリスとアメリカで成立した政治体制について考察することができる【b】 ・ナポレオンによってフランス革命の生かぎがどのように定着し、その失脚後にはどのような国際的枠組みがつくられたのか理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察
6	8	前期中間考査 4 産業革命で変わる社会 5 イギリスの繁栄と国際分業体制 3章 近代化の進展と国民国家形成		・産業革命による社会変化に着目し、問題を考察することができる【b】 ・国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に着目して理解することができる【a】 ・ドイツとロシアの近代国家形成の特徴について考察することができる【b】 ・アメリカ合衆国の領土拡大と南北戦争について理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察
7	6	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国		・ヨーロッパの進出に対する日本と清の対応を、行動主体に着目し理解することができる【a】 ・清と日本の欧米諸国への対応における相違点をあげ、理由について考察することができる【b】 ・旧幕府軍と新政府軍の考え方の違いと近代化との関連について考察することができる【b】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察
8	2	5章 近代化が進むアジアと東アジア 1 新政府の誕生 2 近代国家を目指す日本		・大日本帝国憲法制定と外交にもとづく領土画定について、背景と過程を理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察
9	6	3 日本と清の近代化と日清戦争 4 列強の中国進出と日露戦争 5 日露戦争が与えた影響 3部 1章 第一次世界大戦と日本の対応		・日清戦争の結果、東アジアの関係の変化について考察することができる【b】 ・日露戦争と日本の対外進出がアジアに与えた影響を理解することができる【a】 ・近代化に関連する現代の課題について考察することができる【c】 ・ロシア革命が発生した背景や経緯を理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察
10	8	2章 国際協調と大衆社会の広がり		・ヴェルサイユ体制と国際連盟の課題について考察することができる【b】 ・中東とインドの民族運動の経緯と現代まで続く課題について理解することができる【a】 ・大戦後、各国で大衆の政治参加が進んだ理由について考察することができる【b】 ・日本における大衆の政治参加と大衆社会の形成について理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察
11	7	3章 日本の行方と第二次世界大戦		・世界恐慌の影響と、ソ連のスターリン独裁の功罪について理解することができる【a】 ・日本がドイツ・イタリアに接近した背景について考察することができる【b】 ・ヨーロッパからアジア・太平洋に及ぶ戦争に発展する経緯について、理解することができる【a】 ・日本がポツダム宣言を受諾するに至る経緯や被害の甚大さについて理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察
12	5	4章 再出発する世界と日本		・冷戦がヨーロッパ諸国に及ぼした影響について考察することができる【b】 ・アジア諸国の独立運動が冷戦構造に組み込まれていく経緯について理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察
1	6	4部 グローバル化と私たち 1章 冷戦で揺れる世界と日本		・日本が高度経済成長を達成できた要因を、国内外の情勢と関連させて考察することができる【b】 ・第三勢力の形成と脱植民地化の動向について、冷戦との関係を踏まえ理解することができる【a】 ・パレスチナ問題と中東戦争が、国際社会に与えた影響について理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察
2 3	10	2章 多極化する世界 3章 グローバル化のなかの世界と日本		・ベトナム戦争がアメリカ社会と国際社会に与えた影響について理解することができる【a】 ・「経済大国」となった日本の国際的な課題と求められる貢献について考察することができる【b】 ・冷戦の終結によって、なぜ地域紛争が勃発したり、地域統合が進んだりしたのかについて考察することができる【b】			プリント確認 考察・発表内容 の評価 行動観察

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	地理歴史	科目名	歴史総合	学年（文理）	2年（文）	単位数（合計）	2（70）
使用教科書	明解 歴史総合(帝国書院)			補助教材	新詳 歴史総合(浜島書店)		
指導目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。						
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点			評価方法	
4	10	1部 歴史の扉 2部 近代化と私たち 近代化への問い 1章 江戸時代の日本と結びつく世界	・「大航海時代」から「世界の一体化」への交易の意義と地域の変容を考察することができる【b】 ・江戸幕府が貿易を統制した目的について考察することができる【b】 ・18世紀における清を中心としたアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国との交易について理解することができる【a】 ・大西洋三角貿易がアフリカとアメリカに残した課題について考察することができる【b】			プリント確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
5	10	2章 欧米諸国における近代化	・イギリスとアメリカで成立した政治体制とその違いについて考察することができる【b】 ・フランスの政治体制や社会が革命によってどのように変化したのかを考察することができる【b】 ・ナポレオンによってフランス革命の生かさがどのように定着し、その失脚後にはどのような国際的枠組みがつけられたのか理解することができる【a】 ・産業革命による社会の変化に着目し、現代につながる問題を考察することができる【b】 ・「世界の工場」とよばれたイギリスの繁栄を、内政・外交の面から理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
6	10	前期中間考査 3章 近代化の進展と国民国家形成 4章アジア諸国の動揺と日本の開国	・国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に着目して理解することができる【a】 ・ドイツとロシアの近代国家形成の特徴について考察することができる【b】 ・アメリカ合衆国の領土拡大と南北戦争について理解することができる【a】 ・ヨーロッパの進出に対する日本と清の対応と結果を、行動主体に着目し理解することができる【a】 ・清と日本の欧米諸国への対応における相違点をあげ、その理由について考察することができる【b】 ・旧幕府軍と新政府軍の考え方の違いと近代化との関連について考察することができる【b】			プリント確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
7	8	5章 近代化が進むアジアと東アジア	・大日本帝国憲法制定と外交にもとづく領土画定について、背景と過程を理解することができる【a】 ・日清戦争の結果、東アジアの関係がどのように変化したかを考察することができる【b】 ・日露戦争と日本の対外進出が、アジア各地にどのような影響を与えたか理解することができる【a】 ・近代化に関連する現代の開台について考察することができる【c】			プリント確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
8	4	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1章 第一次世界大戦と日本の対応	・ドイツの政策がヨーロッパ諸国の対立や同盟に与えた影響について考察することができる【b】 ・第一次世界大戦の特徴と戦争の被害が拡大した要因について考察することができる【c】 ・ロシア革命が発生した背景や経緯を理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
9	8	2章 国際協調と大衆社会の広がり 前期期末考査	・ヴェルサイユ体制と国際連盟の課題について考察することができる【b】 ・中東とインドの民族運動の経緯と現代まで続く課題について理解することができる【a】 ・大戦後、各国で大衆の政治参加が進んだ理由について考察することができる【b】 ・日本における大衆の政治参加と大衆社会の形成について理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
10	10	3章 日本の行方と第二次世界大戦 4章 再出発する世界と日本	・世界恐慌の影響と、ソ連のスターリン独裁の功罪について理解することができる【a】 ・ファシズム勢力に大衆が同調したり、見過ごしたりした理由と課題を考察することができる【b】 ・日本がドイツ・イタリアに接近した背景について考察することができる【b】 ・ヨーロッパからアジア・太平洋にも及ぶ戦争に発展する経緯について、理解することができる【a】 ・日本がポツダム宣言を受諾するに至る経緯や被害の甚大さについて理解することができる【a】 ・冷戦がヨーロッパ諸国に及ぼした影響について考察することができる【b】 ・アジア諸国の独立運動が冷戦構造に組み込まれていく経緯について理解することができる【a】			プリント確認 考察・発表内容の評価 行動観察	
11	10	4部 グローバル化と私たち	・日本が高度経済成長を達成できた要因を、国内外の情勢と関連させて考察することができる【b】 ・第三勢力の形成と脱植民地化の動向について、冷戦との関係を踏まえて理解することができる【a】 ・パレスチナ問題と中東戦争が、国際社会に与えた影響について理解することができる【a】 ・ベトナム戦争がアメリカ社会と国際社会に与えた影響について理解することができる【a】 ・「経済大国」となった日本の国際的な課題と求められる貢献について考察することができる【b】 ・冷戦の終結によって、なぜ地域紛争が勃発したり、地域統合が進んだりしたのかについて考察することができる【b】			プリント確認 考察・発表内容の評価 行動観察	

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究	学年（文理）	2年（文）	単位数（合計）	1（35）
使用教科書	詳説日本史 日本史探究（山川出版社）			補助教材	最新日本史図表 四訂版（第一学習社） 詳説日本史史料集 再訂版（山川出版社） 日本史探究 詳説日本史スタンダードテスト（山川出版社） 日本史探究 詳説日本史 10分間テスト（山川出版社）		
指導目標	我が国の歴史の展開を、世界史的視野に立って総合的に考察させ、我が国の文化と伝統についての認識を深めさせることによって歴史的思考力を培い、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。						

月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点	評価方法
12	10	第1章 日本文化のあけぼの 1 文化のはじまり 2 農耕社会の成立 3 古墳とヤマト政権 【歴史と資料】	- 考古学的資料、中国史書から、当時の日本の生活や文化について知ることができる。【知・思】 - 遺跡・遺物を図版等で確認し理解しようとする。【技】 - ヤマト政権の拡大を古墳や大陸との交渉を通じて理解できる。【知】	行動観察 ノート確認 問題演習
1	11	第2章 古墳とヤマト政権 1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	- 地域に残る古墳と畿内の古墳との比較からヤマト政権との関わりを考察するとともに、文化遺産への関心を高め、文化財保護の重要性を理解できる。【知】 - 遣唐使を中心に大陸との関係を理解できる。【知】 - 文化財を図版で確認し、美術的な価値を理解しようとする。【関】	行動観察 ノート確認 問題演習
2	11	第3章 律令国家の形成 1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化	- 律令国家成長期の国内情勢や律令制の内容と変遷を理解できる。【知】 - 系図を利用して政権の変遷を理解できる。【知】 - 史料や地図から土地制度や遷都の変遷が分かる。【思】 - 図版を用いて文化財に親しみ、天平文化の国際性を理解できる。【知・関】	行動観察 ノート確認 問題演習
3	17	学年末考査 4 律令国家の変容 第4章 貴族政治の展開 1 摂関政治 2 貴族文化	- 藤原氏・皇室系図を参照し、他氏排斥等によって藤原氏が勢力を拡大する過程を理解できる。【知】 - 末法思想・浄土教が流行した背景と影響を考察することができる。【思】	行動観察 ノート確認 問題演習

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	地理歴史	科目名	世界史探究	学年（文理）	2年（文）	単位数（合計）	1（35）
使用教科書		詳説世界史 世界史探究 （山川出版社）		補助教材	アカデミア世界史（浜島書店） 世界史探究 詳説世界史10分間テスト（山川出版社） 世界史探究 詳説世界史スタンダードテスト（山川出版社）		
指導目標		世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。					
月	時間	主な学習内容（項目）		主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点			評価方法
12	8	第1章 文明の成立と古代文明の特質		・文明が生まれた条件について関心がもてる。【c】 ・地理的な特徴からエジプトに安定した王朝が生まれた要因を考察できる。【b】 ・インダス文明から影響を受けているインド文化について理解を深められる。【a】			行動観察 ノート確認 問題演習
1	10	第2章 中央ユーラシアと東アジア世界		・春秋時代と戦国時代の秩序の違いに気付くことができる。【b】 ・遊牧民の興亡が東西ユーラシア大陸に影響を与えていることに関心がもてる。【c】 ・魏晉南北朝時代の文化の特徴を理解できる。【a】			行動観察 ノート確認 問題演習
2	13	第3章 南アジア世界と東南アジア世界 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成		・仏教の伝播のルートについて関心がもてる。【c】 ・仏教王朝の支配下で浸透していったヒンドゥー教の特徴を理解できる。【a】 ・東西文明の間でパルティアやササン朝の果たした役割に気付くことができる。【b】			行動観察 ノート確認 問題演習
3	4	第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成		・ギリシアの民主政の成立過程に関心がもてる。【c】 ・ローマの支配勢力の拡大の歴史を理解できる。【a】 ・ギリシアとローマの成長が異なる要因を考察できる。【b】			行動観察 ノート確認 問題演習

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	学年(文理)	2年(理)	単位数(合計)	2(70)
使用教科書	数学Ⅱ(数研出版)			補助教材	「4STEP 数学Ⅱ+B」(数研出版) 「Focus Gold Smart 数学Ⅱ+B+ベクトル」(啓林館)		
指導目標	指数関数と対数関数、微分法・積分法についてその考え方を理解させるとともに、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、発展的な問題に対しても数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用し、問題を解決する態度を育てる。						

月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点	評価方法
4	8	第5章 指数関数と対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質	・指数の拡張の意味と指数法則を理解する。【a】 ・指数関数の特徴とその諸性質を理解する。【a・b】 ・対数の性質を指数法則の裏付けによって理解し、対数の諸公式を覚え活用できる。【a・b】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題 春休み課題
5	11	4. 対数関数 5. 常用対数 第6章 微分法と積分法 ○微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数	・対数関数の特徴とその諸性質を理解する。【a】 ・常用対数を利用した桁数の問題などを通して、対数の考えの有用性を理解し、活用できる。【a・b】 ・微分法の考え方を理解する。微分係数・導関数の意味を理解し、それらを求めることができる。【a】 ・極限の考え方を理解し、関数の極限値を求めることができる。【a・b】 ・導関数の意味を理解し、それらを求めることができる。【a】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題 課題考査
6	8	○導関数の応用 3. 接線 前期中間考査 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値	・前期中間までの学習状況を自己評価する。【c】 ・微分法の考え方をを用いて、接線の様々な問題の解決に用いることができる。【a・b】 ・微分法の考え方をを用いて、増減・極値を調べ、3次関数のグラフを描くことができる。【a・b】 ・微分法の考え方を、最大・最小の様々な問題の解決に用いることができる。【a・b】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
7	10	6. 関数のグラフと方程式・不等式 ○積分法 7. 不定積分	・微分法の考え方を、方程式・不等式の様々な問題の解決に用いることができる。【a・b】 ・不定積分、原始関数の概念を理解し、不定積分を求めることができる。【a】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
8	3	実力考査 8. 定積分	・定積分の概念を理解し、その値を求めることができる。【a・b】	行動観察夏休み課題
9	10	9. 面積 前期期末考査 ○課題学習	・いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の求め方の原理を理解し、求めることができる。【a・b】 ・前期の学習状況を自己評価する。【c】 ・日常の諸問題に対して、数学的な考え方をを用いて考察しようとする。【c】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
10	10	関数の発展的な学習 第1章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数	・分数関数および無理関数について理解し、それを「方程式・不等式を解くこと」「最大値・最小値を求めること」に生かすことができる。【a・b】 ・逆関数と合成関数を理解しその関数を求めることができる。【b】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
11	10	極限の発展的な学習 第2章 極限 ○数列の極限 1. 数列の極限 2. 無限等比数列 3. 無限級数	・無限数列の極限の考え方を理解し、求めることができる。【a・b】 ・無限級数の考え方を理解し、求めることができる。【a・b】 ・後期中間までの学習状況を自己評価する。【c】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	学年(文理)	2年(文)	単位数(合計)	3(105)
使用教科書	数学Ⅱ(数研出版)			補助教材	「4STEP 数学Ⅱ+B」(数研出版) 「Focus Gold Smart 数学Ⅱ+B+ベクトル」(啓林館)		
指導目標	指数関数と対数関数、微分法・積分法についてその考え方を理解させるとともに、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、発展的な問題に対しても数学的に考察し、処理する能力を伸ばすとともに、それらを活用し、問題を解決する態度を育てる。						

月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点	評価方法
4	8	第5章 指数関数と対数関数 1. 指数の拡張 2. 指数関数 3. 対数とその性質	・指数の拡張の意味と指数法則を理解する。【a】 ・指数関数の特徴とその諸性質を理解する。【a・b】 ・対数の性質を指数法則の裏付けによって理解し、対数の諸公式を覚え活用できる。【a・b】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題 春休み課題
5	11	4. 対数関数 5. 常用対数 第6章 微分法と積分法 ○微分係数と導関数 1. 微分係数 2. 導関数	・対数関数の特徴とその諸性質を理解する。【a】 ・常用対数を利用した桁数の問題などを通して、対数の考えの有用性を理解し、活用できる。【a・b】 ・微分法の考え方を理解する。微分係数・導関数の意味を理解し、それらを求めることができる。【a】 ・極限の考え方を理解し、関数の極限值を求めることができる。【a・b】 ・導関数の意味を理解し、それらを求めることができる。【a】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題 課題考査
6	8	○導関数の応用 3. 接線 前期中間考査 4. 関数の値の変化 5. 最大値・最小値	・前期中間までの学習状況を自己評価する。【c】 ・微分法の考え方をを用いて、接線の様々な問題の解決に用いることができる。【a・b】 ・微分法の考え方をを用いて、増減・極値を調べ、3次関数のグラフを描くことができる。【a・b】 ・微分法の考え方を、最大・最小の様々な問題の解決に用いることができる。【a・b】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
7	10	6. 関数のグラフと方程式・不等式 ○積分法 7. 不定積分	・微分法の考え方を、方程式・不等式の様々な問題の解決に用いることができる。【a・b】 ・不定積分、原始関数の概念を理解し、不定積分を求めることができる。【a】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
8	3	実力考査 8. 定積分	・定積分の概念を理解し、その値を求めることができる。【a・b】	行動観察夏休み課題
9	10	9. 面積 前期期末考査 ○課題学習	・いろいろな曲線で囲まれた図形の面積の求め方の原理を理解し、求めることができる。【a・b】 ・前期の学習状況を自己評価する。【c】 ・日常の諸問題に対して、数学的な考え方をを用いて考察しようとする。【c】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
10	10	以降、Focus Gold 演習 1章 式と証明 2章 複素数と方程式	・式と証明の復習。【c】 ・複素数と方程式の復習。【c】	行動観察 宿題確認 ノート確認
11	11	3章 図形と方程式	・図形と方程式の復習。【c】	行動観察 ノート確認
12	10	4章 三角関数	・三角関数の復習。【c】	行動観察 ノート確認
1	10	5章 指数・対数関数	・指数関数・対数関数の復習。【c】	行動観察 ノート確認
2	9	6章 微分法と積分法	・微分法と積分法の復習。【c】	行動観察 ノート確認
3	5	学年末考査	・学年の学習状況を自己評価する。【c】	ノート確認

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	数学	科目名	数学Ⅲ	学年(文理)	2年(理)	単位数(合計)	1(35)
使用教科書	数学Ⅲ(数研出版)			補助教材	「4STEP 数学Ⅲ＋C」(数研出版) 「Focus Gold Smart 数学Ⅲ＋C」(啓林館)		
指導目標	極限、微分法について、基礎的な知識の習得と問題解決にいたる技能の習熟を図る。特に、微分法を活用した解析学的な処理で関数の値の変化を調べられるようにする。発展的な問題に対しても基礎知識や技能を活用し、処理する能力を進展させる。						

月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と到達目標・評価の観点	評価方法
11	1	第2章 極限 ○数列の極限	無限数列・無限級数の考え方を理解し、求めることができる。【a・b】	行動観察 ノート確認 休日課題
12	10	○関数の極限 4. 関数の極限 5. 三角関数と極限 6. 関数の連続性	・関数の極限の考え方を理解する。【a】・三角関数など一般の関数の極限を求めることができる。【a・b】 ・関数の連続性について理解し、連続・不連続を調べることができる。【a】 ・数学Ⅱで学んだ微分係数や導関数の意味や考え方を再確認し、理解を深める。【a】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
1	10	第3章 微分法 ○導関数 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算 3. 種々の関数の導関数 4. 第n次導関数 5. 関数のいろいろな表示 方と導関数 第4章 微分法の応用 ○導関数の応用 1. 接線と法線	・様々な関数の導関数を求めることができる。【a】 ・高次導関数の意味を理解し、求めることができる。【a・b】 ・媒介変数表示された関数や、陰関数表示された関数の導関数を求める方法を理解し、その導関数を求めることができる。【a・b】 ・日常の諸問題に対して、数学的な考え方をを用いて考察しようとする。【c】 ・接線と法線を理解し、求めることができる。【a・b】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
2	9	2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化 4. 関数の最大と最小 5. 関数のグラフ 6. 方程式、不等式への 応用 学年末考査	・平均値の定理を図形的な意味を含めて理解し、利用できる。【a】 ・導関数の符号と関数の増減の関係を理解し、グラフが描ける。【a・b】 ・増減表をもとに最大値、最小値を求められる。図形問題に活用できる。【a】 ・第2次導関数の符号と曲線の凹凸の関係を理解し、漸近線の有無を把握して的確にグラフが描ける。【a・b】 ・ $y=f(x)$ の増減を利用して方程式の実数解に、グラフを利用して不等式に利用できる。【a・b】 ・前期の学習状況を自己評価する。【c】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
3	5	○速度と近似式 7. 速度と加速度 8. 近似式	・点の運動の速度と加速度が、位置を微分して与えられることがわかる。【a】 ・導関数の応用として1次、2次の近似式が得られ、接線との関係がわかる。【a】	行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	数学	科目名	数学B	学年（文理）	2年（文理）	単位数（合計）	2（70）
使用教科書	数学B（数研出版）			補助教材	「4STEP 数学Ⅱ+B」（数研出版） 「Focus Gold Smart 数学Ⅱ+B+C」（啓林館）		
指導目標	数列などの学習を通してその考え方について理解させるとともに、基礎的な知識の習得と問題解決にいたる技能の習熟を図る。また、具体的なさまざまな事象を数学的に考察し、表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点				評価方法
6	11	前期中間考査 第1章 数列 ○数列とその和 1. 数列 2. 等差数列とその和 3. 等比数列とその和 4. 和の記号Σ	・前期中間までの学習状況を自己評価する。 ・数列の考え方を理解する。【a】 ・等差数列について、一般項や和を求めることができる。【b】 ・等比数列について、一般項や和を求めることができる。【b】 ・記号Σについて、正しく理解し、活用できる。【a・b】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
7	10	5. 階差数列 6. いろいろな数列の和 ○数学的帰納法 7. 漸化式と数列	・階差数列の考え方や数列の和を求めるいろいろな方法について、その原理を理解使うことができる。【a・b】 ・漸化式の意味を理解し、一般項を求めることができる。【a・b】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
8	4	実力考査 8. 数学的帰納法	・ここまでの学習状況を自己評価する。 ・数学的帰納法の原理を理解し、その考え方をを用いて証明できる。【a・b】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
9	9	第2章 統計的な推測 ○確率分布 1. 確率変数と確率分布 2. 確率変数の期待値と分散 3. 確率変数の変換 前期末考査	・確率分布の考え方を理解する。【a】 ・確率変数について、分散や標準偏差を求めることができる。【b】 ・確率変数の変換を理解し、平均や分散を求めることができる。【b】 ・前期末までの学習状況を自己評価する。				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
10	11	4. 確率変数の和と期待値 5. 独立な確率変数と期待値・分散 6. 二項分布 7. 正規分布	・確率変数について、期待値を求めることができる。【b】 ・独立な確率変数の性質を理解し、平均や分散を求めることができる。【b】 ・二項分布について、正しく理解し、活用できる。【a】 ・正規分布の考え方や原理を理解し、事象の評価を考察できる。【c】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
11	11	○統計的な推測 8. 母集団と標本 9. 標本平均とその分布 10. 推定 11. 仮説検定 後期中間考査	・標本調査の考え方や原理を理解し、母集団の分布がもつ定数の値を推測できる。【b】 ・仮説検定の考え方を理解し、母集団に関する仮説を実験や観測に基づいて判断できる。【c】 ・後期中間までの学習状況を自己評価する。				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
2	9	補助教材による問題演習 学年末考査	・数学ⅠAⅡBC全範囲の総復習をし、基礎的な力を確かなものにし、3年生における発展的な演習への橋渡しとする。【a・b】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲にわたって、学習内容の理解を深める。【c】 ・1年間の学習状況を自己評価する。				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
3	5	補助教材による問題演習	・数学ⅠAⅡBC全範囲の総復習をし、基礎的な力を確かなものにし、3年生における発展的な演習への橋渡しとする。【a・b】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲にわたって、学習内容の理解を深める。【c】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	数学	科目名	数学C	学年（文理）	2年（理）	単位数（合計）	1（35）
使用教科書	数学C（数研出版）			補助教材	「4STEP 数学Ⅲ＋C」（数研出版） 「Focus Gold Smart 数学Ⅱ+B+C」（啓林館） 「Focus Gold Smart 数学Ⅲ＋C」（啓林館）		
指導目標	ベクトルなどの学習を通してその考え方について理解させるとともに、基礎的な知識の習得と問題解決にいたる技能の習熟を図る。また、具体的なさまざまな事象を数学的に考察し、表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点				評価方法
4	7	第1章 平面上のベクトル ○平面上のベクトルとその演算 1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 ○ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形	・ベクトルの考え方を理解し、計算ができる。【a】 ・ベクトルの成分の意味を理解し、利用することができる。【a・b】 ・ベクトルの内積の意味を理解し、利用することができる。【a・b】 ・位置ベクトルの考え方を理解し、様々な場面で活用できる。【a・b】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題 課題考査
5	10	7. ベクトル方程式 第2章 空間のベクトル 1. 空間の座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. 座標空間における図形	・ベクトル方程式の意味を理解し、様々な図形問題に活用できる。【a・b】 ・空間における座標の性質を理解している。【a】 ・空間ベクトルは平面ベクトルと同様に考えられることを理解した。【a・b】 ・ベクトルの成分の意味を理解し、利用することができる。【a・b】 ・位置ベクトルの考え方を理解し、様々な場面で活用できる。【c】 ・ベクトルの考え方を、座標空間内の図形問題を活用できる。【a・b】 ・座標空間における線分の分点の考え方や平面の方程式などを理解し、それらを求めることができる。【a・b】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
12	9	第3章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式と乗法 除法 3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形 第4章 式と曲線 ○2次曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線	・複素数の平面上の点への対応方を、平面ベクトルと関連付けて理解し表現 できる。【b】 ・和、差、積、商により平面上でどうなるかを理解する。【c】 ・n乗計算ができることを理解する。【a】 ・軌跡など図形問題を複素数平面で解決できることを理解する【c】 ・2次曲線の基本的な性質及び曲線がいろいろな式で表現できることを理解 し、具体的な事象の考察に活用できる。【b】 ・放物線、楕円、双曲線の定義を理解し、それに基づいて式を導くことがで きる。【a】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
1	9	実力考査 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線 6. 2次曲線の性質 ○媒介変数表示と極座標 7. 曲線の媒介変数表示 8. 極座標と極方程式 9. コンピュータといろい ろな曲線	・ここまでの学習状況を自己評価する。 ・「平行移動の考え方」や「曲線と直線の位置関係」が式の上でどのように扱 われるかを確認し、理解を深める。【c】 ・焦点の性質を中心に、2次曲線の考え方を整理する。【a】 ・媒介変数表示及び極座標の表示、極方程式の考え方を理解し、それを用い て曲線の性質を調べることができる。【a・b】 ・コンピュータを用いて曲線を表示して特徴を確認する。【c】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	数学	科目名	数学C	学年（文理）	2年（文）	単位数（合計）	1（35）
使用教科書	数学C（数研出版）			補助教材	「4STEP 数学C」（数研出版） 「Focus Gold Smart 数学Ⅱ+B+C」（啓林館）		
指導目標	ベクトルなどの学習を通してその考え方について理解させるとともに、基礎的な知識の習得と問題解決にいたる技能の習熟を図る。また、具体的なさまざまな事象を数学的に考察し、表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。						
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点				評価方法
4	7	第1章 平面上のベクトル ○平面上のベクトルとその演算 1. 平面上のベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 ○ベクトルと平面図形 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形	・ベクトルの考え方を理解し、計算ができる。【a】 ・ベクトルの成分の意味を理解し、利用することができる。【a・b】 ・ベクトルの内積の意味を理解し、利用することができる。【a・b】 ・位置ベクトルの考え方を理解し、様々な場面で活用できる。【a・b】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題 課題考査
5	10	7. ベクトル方程式 第2章 空間のベクトル 1. 空間の座標 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルと図形 7. 座標空間における図形	・ベクトル方程式の意味を理解し、様々な図形問題に活用できる。【a・b】 ・空間における座標の性質を理解している。【a】 ・空間ベクトルは平面ベクトルと同様に考えられることを理解した。【a・b】 ・ベクトルの成分の意味を理解し、利用することができる。【a・b】 ・位置ベクトルの考え方を理解し、様々な場面で活用できる。【c】 ・ベクトルの考え方を、座標空間内の図形問題を活用できる。【a・b】 ・座標空間における線分の分点の考え方や平面の方程式などを理解し、それらを求めることができる。【a・b】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
12	9	補助教材による問題演習	・数学ⅠAⅡBC全範囲の総復習をし、基礎的な力を確かなものにし、3年生における発展的な演習への橋渡しとする。【a・b】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲にわたって、学習内容の理解を深める。【c】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題
1	9	実力考査 補助教材による問題演習	・ここまでの学習状況を自己評価する。 ・数学ⅠAⅡBC全範囲の総復習をし、基礎的な力を確かなものにし、3年生における発展的な演習への橋渡しとする。【a・b】 ・数学ⅠAⅡBC全範囲にわたって、学習内容の理解を深める。【c】				行動観察 宿題確認 ノート確認 休日課題

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	理科	科目名	物理	学年（文理）	2年（理）	単位数（合計）	2（70）
使用教科書	物理（数研出版）			補助教材	センサー物理（啓林館） らくらくマスター物理基礎・物理(河合出版)		
指導目標	日常生活や社会との関連を図りながら物理的な事物・現象への関心を高める。理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、物理的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。						
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点			評価方法	
4	6	第3編 波 第1章 波の伝わり方 1. 正弦波 2. 波の伝わり方 演習問題	○波とは何か、波はどのように伝わるのか、波の性質について学ぶ。 ・様々な波の現象に興味をもち、自ら進んで調べようとする。【a】 ・波の発生と伝わりについて理解できる。【a】 ・縦波と横波について理解できる。【a】 ・重ね合わせの原理を理解し、定常波や波の干渉に応用できる。【b】 ・波の反射、屈折、回折について理解できる。【b】 ・弦を伝わる波の速さを求める実験を行いその方法を理解できる。【b】			行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート	
5・6	14	第2章 音の伝わり方 1. 音の伝わり方 前期中間考査 2. 音のドップラー効果 演習問題	○音波の様々な性質について学ぶ。 ・音の伝わり方を理解できる。【a】 ・前期中間までの学習状況を自己評価する。【c】 ・音の反射・屈折・回折・干渉、うなりについて理解できる。【a】 ・弦の振動と、気柱の共鳴について理解できる。【a】 ・ドップラー効果が生じる理由を理解し、実際の問題に応用ができる。【b】			行動観察 小テスト確認 ノート確認	
7・8・9	14	第3章 光 1. 光の性質 2. レンズ 3. 光の干渉と回折 演習問題 前期期末考査	○光の進み方や、波としての光の性質について学ぶ。 ・光波・レンズ・光の干渉と回折について観察・実験などを通して探究し、光とレンズについての基本的な概念や法則を理解するとともに、それらを日常生活と関連付けて考察できる。【b】 ・光の種類、光の速さ、偏光について理解できる。【a】 ・光の反射・屈折について理解し、全反射に応用できる。【b】 ・光の散乱・分散の違いを理解できる。【a】 ・凸レンズ、凹レンズによる像の作図ができ写像公式を使うことができる。【b】 ・光の干渉と回折について理解しヤングの実験、回折格子、薄膜による干渉、くさび型空気層の干渉、ニュートンリングに応用できる。【b】 ・光の波長を求める実験を行いその方法を理解できる。【b】 ・前期の学習状況を自己評価する。【c】			行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート	
10・11	15	第1編 力と運動 第1章 平面内の運動 第2章 剛体 1. 剛体はたらく力のつりあい 2. 剛体はたらく力の合力と重心 演習問題 後期中間考査	○平面内の物体の運動、大きさのある剛体の重心やつりあいについて学ぶ。 ・平面内の運動について理解できる。【a】 ・剛体はたらく力のつりあいについて興味をもち、自ら進んで調べようとする。【c】 ・剛体のつりあいについての力のつりあい、モーメントのつりあいの式をたてることができる。【b】 ・剛体のつりあいまでの範囲を自己評価する。【c】			行動観察 小テスト確認 ノート確認	
12	5	第3章 運動量の保存 1. 運動量と力積 2. 運動量保存	○2物体の衝突や、1つの物体の分裂の際に成り立つ法則について学ぶ。 ・運動量と力積について興味をもち、自ら進んで調べようとする。【c】 ・運動量と力積の関係と運動量保存則を用いて2物体系の運動を理解できる。【a】			行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート	
1	6	3. 反発係数 演習問題 第4章 円運動と万有引力 1. 等速円運動	・反発係数について理解し、2物体系の衝突運動を理解できる。【a】 ○物体の周期的な運動の基となる力の性質や運動の様子について学ぶ。 ・等速円運動(速度、加速度、向心力)について興味をもち、自ら進んで調べようとする。【c】			行動観察 小テスト確認 ノート確認	
2・3	10	2. 慣性力 3. 単振動 演習問題 学年末考査	・慣性力について理解し、加減速運動に応用できる。【b】 ・等速円運動と単振動の関係を理解し、応用できる。【b】 ・1年間の学習により何が学べたかについてまとめる。【c】			行動観察 小テスト確認 ノート確認	

令和 7 年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	理科	科目名	化学基礎	学年（文理）	2 年(理)	単位数（合計）	2（70）
使用教科書	化学基礎（数研出版）			補助教材等	フォローアップドリル 物質の構成と化学結合（数研出版） フォローアップドリル 物質量（数研出版） リードα 化学基礎+化学（数研出版） スクエア最新図説化学（第一学習社）		
指導目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、物質とその変化について科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。						

月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点	評価方法
4	4	序 章 化学の特徴 第 1 編 物質の構成と化学結合 第 1 章 物質の構成 1. 混合物と純物質 2. 物質とその成分 3. 物質の三態と熱運動	- 身近な出来事に疑問をもち、化学の探究の進め方に興味をもつ。【c】 - 混合物を分離する操作として、ろ過、蒸留、分留、昇華法、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどの方法をあげることができる。【a】 - 単体と化合物の違いについて説明することができる。【b】 - 物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。【a】	行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート
4 5	4	第 2 章 物質の構成粒子 1. 原子とその構造 2. イオン 3. 周期表	- 原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。【a】 - イオンのなりやすさについてイオン化エネルギーや電子親和力の値の大小と関連させて考えることができる。【b】 - 周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき、価電子の数と化学的性質の関連について説明できる。【b】	行動観察 小テスト確認 ノート確認
5	10	第 3 章 化学結合 1. イオン結合とイオン結晶 2. 共有結合と分子 3. 配位結合 4. 分子間にはたらく力 5. 高分子化合物 6. 共有結合の結晶 7. 金属結合と金属結晶 前期中間考査	- イオンからなる物質の特徴を示すことができる。【a】 - さまざまな分子を分子式や電子式、構造式で表しその構造を考えることができる。【a】 - 極性を電気陰性度の違いによる電荷のかたよりと分子の形から理解している。【a】 - 分子結晶との違いについて説明できる。【b】 - 金属特有の性質が自由電子によるものであることに気づき、金属結合および金属結晶の性質について説明できる。【b】 2 ヶ月間の学習状況を自己評価する。	行動観察 小テスト確認 ノート確認
6 7	10	第 2 編 物質の変化 第 1 章 物質質量と化学反応式 1. 原子量・分子量・式量 2. 物質質量 3. 溶液の濃度 4. 化学反応式と物質質量	- 原子の相対質量をもとに、分子や分子をつくらないものの質量を考えることができる。【a】 - 物質質量の概念を理解するとともに、物質質量で考えていくことの意味を考察することができる。【b】 - 物質質量の計算をすることができる。【a】 - 化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができる。【b】	行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート
8 9	14	第 2 章 酸と塩基の反応 1. 酸・塩基 2. 水素イオン濃度と pH 3. 中和反応と塩 4. 中和滴定 前期期末考査	- 酸とは何か、塩基とは何かに関心をもつ。【c】 - 酸・塩基の性質を H^+ と OH^- で考える方法と、H^+ の授受で考える方法から、酸と塩基を見きわめられる。【b】 - 水溶液中の H^+ の濃度を pH で表す方法を理解している。【a】 - 塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。【b】 - 中和反応の量的関係と中和滴定の実験操作が分かる。【a】 - 前期の学習状況について自己評価する。	行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート
10 11	28	第 3 章 酸化還元反応 1. 酸化と還元 2. 酸化剤と還元剤 3. 金属の酸化還元反応 4. 酸化還元反応の利用 電池および電気分解は「化学教科書、第 2 編第 2 章 電池と電気分解」を扱う 後期中間考査	- 電子の授受や酸化数により酸化還元反応が説明できることを理解している。【a】 - 酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようになる。【a】 - 酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになる。【b】 - 金属固有の性質をイオン化傾向で考えることができるようになる。【b】 - 身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。【c】 - 電池や金属の製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づく。【b】 - ファラデーの法則に基づき、電気分解の量的関係の計算ができる。【b】 - 後期の学習により何が学べたかについてまとめる。 - 後期中間考査までの授業及び自分の学習状況について自己評価する。	行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	理科	科目名	化学基礎	学年（文理）	2年(文)	単位数（合計）	2（70）
使用教科書		化学基礎（数研出版）		補助教材等	リードα化学基礎（数研出版）		
指導目標		日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心を高め、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、物質とその変化について科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。					
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点			評価方法	
4	4	序 章 化学の特徴 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 1. 混合物と純物質 2. 物質とその成分 3. 物質の三態と熱運動	・身近な出来事に疑問をもち、化学の探究の進め方に興味をもつ。【c】 ・混合物を分離する操作として、ろ過、蒸留、分留、昇華法、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどの方法をあげることができる。【a】 ・単体と化合物の違いについて説明することができる。【b】 ・物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。【a】			行動観察 小テスト確認 ノート確認	
4 5	4	第2章 物質の構成粒子 1. 原子とその構造 2. イオン 3. 周期表	・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。【a】 ・イオンのなりやすさについてイオン化エネルギーや電子親和力の値の大小と関連させて考えることができる。【b】 ・周期表の中に周期律が見いだせること、周期律は価電子の数の周期的な変化によることに気づき、価電子の数と化学的性質の関連について説明できる。【b】			行動観察 小テスト確認 ノート確認	
5 6	10	第3章 化学結合 1. イオン結合とイオン結晶 2. 共有結合と分子 前期中間考査 3. 配位結合 4. 分子間にはたらく力 5. 高分子化合物 6. 共有結合の結晶 7. 金属結合と金属結晶	・イオンからなる物質の特徴を示すことができる。【a】 ・さまざまな分子を分子式や電子式、構造式で表しその構造を考えることができる。【a】 ・2ヶ月間の学習状況を自己評価する。 ・極性を電気陰性度の違いによる電荷のかたよりと分子の形から理解している。【a】 ・分子結晶との違いについて説明できる。【b】 ・金属特有の性質が自由電子によるものであることに気づき、金属結合および金属結晶の性質について説明できる。【b】			行動観察 小テスト確認 ノート確認	
6 7 8	10	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 1. 原子量・分子量・式量 2. 物質質量 3. 溶液の濃度 4. 化学反応式と物質質量	・原子の相対質量をもとに、分子や分子をつくらないものの質量を考えることができる。【a】 ・物質量の概念を理解するとともに、物質質量で考えていくことの意味を考察することができる。【b】 ・物質量の計算をすることができる。【a】 ・化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化でとらえることができる。【b】			行動観察 小テスト確認 ノート確認	
9 10	14	第2章 酸と塩基の反応 1. 酸・塩基 2. 水素イオン濃度と pH 前期期末考査 3. 中和反応と塩 4. 中和滴定	・酸とは何か、塩基とは何かに関心をもつ。【c】 ・酸・塩基の性質をH ⁺ とOH ⁻ で考える方法と、H ⁺ の授受で考える方法から、酸と塩基を見きわめられる。【b】 ・水溶液中のH ⁺ の濃度をpHで表す方法を理解している。【a】 ・前期の学習状況について自己評価する。 ・塩の水溶液の酸性・中性・塩基性を判断し、説明することができる。【b】 ・中和反応の量的関係と中和滴定の実験操作が分かる。【a】			行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート	
11 12 1 2 3	28	第3章 酸化還元反応 1. 酸化と還元 後期中間考査 2. 酸化剤と還元剤 3. 金属の酸化還元反応 4. 酸化還元反応の利用 学年末考査	・電子の授受や酸化数により酸化還元反応が説明できることを理解している。【a】 ・後期中間考査までの授業及び自分の学習状況について自己評価する。 ・酸化還元反応の進行を、色の変化などの視覚的な情報をもとに判断できるようになる。【a】 ・酸化還元反応の化学反応式を、酸化剤・還元剤のはたらきを示す反応式からつくれるようになる。【b】 ・金属固有の性質をイオン化傾向で考えることができるようになる。【b】 ・身近にある電池の構造や反応のしくみに興味を示す。【c】 ・電池や金属の製錬が酸化還元反応を利用したものであることに気づく。【b】 ・1年間の学習により何が学べたかについてまとめる。			行動観察 小テスト確認 ノート確認 実験レポート	

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	理科	科目名	化学	学年（文理）	2 年(理)	単位数（合計）	1（35）
使用教科書	化学（数研出版）			補助教材等	リードα 化学基礎+化学（数研出版） スクエア最新図説化学（第一学習社）		
指導目標	日常生活や社会との関連を図りながら化学的な事物・現象への関心を高める。理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、化学的な事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育てる。						

月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点	評価方法
12	5	第1編 物質の状態 第1章 固体の構造 1. 結晶とアモルファス 2. 金属結晶 3. イオン結晶 4. 分子間力と分子結晶 5. 共有結合の結晶	- 単位格子や配位数の意味について理解する。【a】 - 金属の結晶格子における原子の配列の仕方に興味をもつ。【c】 - イオン結晶の違いについて、結晶格子中の配位数やイオンの数に着目しながら説明できる。【b】 - 分子間力と物質の沸点に関係があることを理解する。【a】 - ダイヤモンドの結晶格子について、配位数、単位格子中の炭素原子の数について理解をしている。【a】	行動観察 ノート確認 小テスト確認
12	6	第2章 物質の状態変化 1. 粒子の熱運動 2. 三態の変化とエネルギー 3. 気液平衡と蒸気圧	- 気体分子の熱運動と運動エネルギー、温度の関係について理解する。【a】 - 加熱による物質の温度変化を表した図において、グラフの形について説明できる。【b】 - 気液平衡の考え方を理解する。【a】 - 蒸気圧および蒸気圧曲線について理解する。【a】	行動観察 ノート確認 小テスト確認 実験レポート
12 1	12	第3章 気体 1. 気体の体積 2. 気体の状態方程式 3. 混合気体の圧力 4. 実在気体	- 気体の体積や圧力、絶対温度の関係性について興味をもつ。【c】 - 気体には理想気体の状態方程式が成り立つことを理解する。【a】 - 分圧の考え方をを用いて、水上置換で捕集した気体の分圧を求めることができる。【b】 - 理想気体と実在気体の違いについて理解する。【a】	行動観察 ノート確認 小テスト確認
1 2	7	第4章 溶液 1. 溶解とそのしくみ 2. 溶解度 3. 希薄溶液の性質	- 物質の溶解とそのしくみについて興味をもつ。【c】 - 飽和溶液において成立する溶解平衡について理解する。【a】 - ヘンリーの法則を用いて、気体の溶解量を求めることができる。【b】 - 希薄溶液の蒸気圧降下、沸点上昇、凝固点降下、浸透圧について理解する。【a】	行動観察 ノート確認 小テスト確認 実験レポート
2 3	5	4. コロイド溶液 学年末考査	- コロイド溶液に起こる現象から、そのコロイドの性質や特徴について判断できる。【b】 1年間の学習により何が学べたかについてまとめる。	行動観察 ノート確認 小テスト確認 実験レポート

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	理科	科目名	生物	学年(文理)	2年(理系)	単位数(合計)	2(70)
使用教科書		生物(数研出版)		補助教材等	リードα 生物(数研出版) スクエア 最新図説生物(第一学習社)		
指導目標		生物や生物現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。					
月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と 到達目標・評価の観点			評価方法	
4	35	第1章 生物の進化 ・生命の起源と生物の進化	・生命の起源について、化学進化を経て生命が誕生したことを理解する。【a】			行動観察・小テスト確認 実験レポート ノート確認	
5		・遺伝子の変化と多様性	・突然変異が遺伝的な多様性をもたらすことを理解する。【a】 ・遺伝子の変化と多様性に関心をもち、主体的に学習に取り組める。【b】				
6		・前期中間考査 ・遺伝子の組み合わせの変化	・2ヶ月間の学習状況を自己評価する。 ・減数分裂の過程で、染色体の乗換えにより遺伝子の組換えが起こることを理解する。【a】 ・無性生殖の場合、親と子で遺伝子の組み合わせがどうなるのかを考え、説明することができる。【b】				
7		・進化のしくみ	・自然選択と遺伝的浮動によって遺伝子頻度が変化することを理解する。【a】 ・塩基配列やアミノ酸配列によって、生物の系統を推定できることを理解する。【a】				
8		・生物の系統と進化	・生物の系統と進化に関心をもち、主体的に学習に取り組める。【主体】 ・人類は直立二足歩行を行うという点で他の生物とは異なることを理解する。【a】				
9		・人類の系統と進化 ・前期期末考査	・生物の系統と進化に関心をもち、主体的に学習に取り組める。【主体】 ・人類は直立二足歩行を行うという点で他の生物とは異なることを理解する。【a】 ・前期の学習状況を自己評価する。				
10	13	第2章 細胞と分子 ・生体物質と細胞 ・タンパク質の構造と性質 ・化学反応にかかわるタンパク質	・細胞を構成する代表的な物質とその特徴について理解する。【a】 ・タンパク質の立体構造が、タンパク質の機能と密接に関係していることを理解し、説明することができる。【b】 ・酵素の基本的な性質と、酵素がはたらく反応条件について理解する。【a】			行動観察・小テスト確認 ノート確認	
11		・膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質 ・後期中間考査	・膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質に関心をもち、主体的に学習に取り組める。【c】 ・2ヶ月間の学習状況を自己評価する。				
11	14	第3章 代謝 ・代謝とエネルギー	・生体内で起こる化学反応の一部は酸化還元反応であり、反応に際して大きなエネルギーの出入りを伴うことを理解する。【a】			行動観察・小テスト確認 実験レポート ノート確認	
12		・呼吸と発酵	・呼吸と発酵では、グルコース1分子から得られるATP量に大きな違いがある理由を説明することができる。【b】				
1		・光合成	・光合成では、光エネルギーを用いてATPとNADPHが合成され、これらを用いて二酸化炭素が還元されて有機物が生じることを理解する。【a】 ・光リン酸化と酸化的リン酸化の共通点を説明することができる。【b】 ・光合成に関心をもち、主体的に学習に取り組める。【c】				
1	8	第4章 遺伝情報の発現と発生 ・DNAの構造と複製	・岡崎フラグメントの存在を示唆する実験データに基づいて、岡崎フラグメントが存在することを論理的に説明することができる。【b】			行動観察・小テスト確認 実験レポート ノート確認	
2		・遺伝情報の発現 ・学年末考査	・遺伝情報の発現のしくみを理解する。【a】 ・真核生物と原核生物の遺伝情報の発現の過程を表した資料を比較し、遺伝子発現の過程の違いを見いだすことができる。【b】 ・1年間の学習状況を自己評価する。				

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	保健体育	科目名	体育	学年（文理）	2年（文理）	単位数（合計）	3（105）
使用教科書		現代高等保健体育 （大修館書店）		補助教材等	ステップアップ 高校スポーツ 2024（大修館書店）		
指導目標		各種運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の技能を高め運動の楽しさや喜びを味わうことができるようにするとともに、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯にわたって継続的に運動できる資質や能力を育てる。					
月	時間数	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点			評価方法	
4 5	1	体育理論 スポーツにおける技能と体力	・技能と体力の関係について理解できる。 【a・b・c】			体育ノート 行動観察	
	10	体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・体力を高める運動 （ボールを使う運動を含む）	・手軽な運動を行い、仲間と主体的にかかわることができる。 ・自身の体の状態を知り、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上をはかることができる。 ・球技大会に向けて、バレーボールを使った体力向上ができる。ルールや禁止事項、使用道具及びコートについて理解している。 【a・b・c】			行動観察 体育ノート	
6 7 8	1	体育理論 スポーツにおける技術と戦術	・技能の型の違いやそれぞれの練習法を説明できる 【a・b・c】			体育ノート 行動観察	
	6	陸上競技 ・短距離 ・投擲	・1台目のハードルを勢よく走り越せる ・遠くからハードルを踏み切ることができる ・インターバルでは3歩又は5歩で走ることができる ・ターボジャブをまっすぐ投げるができる ・ターボジャブを保持しながら、クロスステップを行うことができる ・25～35度の角度で投げることができる 【a・b・c】			体育ノート 行動観察 スキル評価	
	1	体育理論 技能の上達過程と練習	・技能の上達過程について例をあげて説明できる。 【a・b・c】			体育ノート 行動観察	
	6	球技 バレーボール	・アンダーハンドパス、オーバーハンドパスを正しく使い、トスにつなぐレシーブとパスができる。 ・3段攻撃における、それぞれの役割を理解し、攻撃を組み立てることができる ・より高い打点から、パワーのあるアタックを打つことができる 【a・b・c】			体育ノート 行動観察 スキル評価	
9 10 11 12	1	体育理論 効果的な動きのメカニズム	・調整力について例をあげて説明できる。 【a・b・c】			体育ノート 行動観察	
	1	体育理論 ・体力トレーニング	・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法をあげることができる。 【a・b・c】			体育ノート 行動観察	
	59	選択① バドミントン 選択② 卓球 必修 ・ソフトボール ・バスケットボール ・テニス ・サッカー	・安定した用具操作の習得や状況に応じたボール操作の習得 【a・b・c】 （例）空いた場所や狙った場所に向けて、緩急や高低をつけた打ち返しやサービスができる フライの捕球 顔の前にグラブを掲げ、ボールの勢いを吸収するように捕ることができる。 自コートの空いていた場所をカバーする動きができる。 ボールの変化（回転・速さ）に応じたラケット操作やストロークでゲームをすることができる。 ・ルールやチーム戦術を理解し、仲間と協力してゲームの運営ができる			体育ノート 行動観察 スキル評価	
1 2	1	体育理論 運動やスポーツでの安全の確保	・スポーツ活動中に起きる事故をあげ、その発生原因と予防方法を説明できる 【a・b・c】			体育ノート 行動観察	
	7	陸上競技 長距離走	・自己に適したペースを維持した走法で走ることができる。 ・目標タイムを設定し自身の記録の向上を目指す取り組みができる 【a・b・c】			【長距離走】 行動観察 長距離カード 体育ノート	

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	保健体育	科目名	保健	学年（文理）	2年（文理）	単位数（合計）	1（35）
使用教科書		現代高等保健体育（大修館書店）		補助教材等		現代高等保健体育ノート（大修館書店）	
指導目標		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深め、生涯にわたって自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。					
月	時間	主な学習内容（項目）		主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点		評価方法	
4	1	保健の授業について		・保健学習の意味と学習の見通しをもつことができる。【a】			
	2	生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康		・ライフステージと健康の関連について説明できる。 ・自分の家族や身近な人などを例にして、どのような健康問題があるかを考える。 【a・b・c】		行動観察 保健ノート	
5	3	2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択		・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。 ・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 【a・b・c】		行動観察 保健ノート	
6	3	4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶		・妊娠・出産の過程を理解し、それぞれの健康課題について説明できる。 ・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。 【a・b・c】		行動観察 保健ノート	
7	3	6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康		・心身の発達と健康生活の関係について理解し、健康生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。 ・加齢にともなう心身の変化について説明できる。 【a・b・c】		行動観察 保健ノート	
8	3	8 働くことと健康		・働くことの意義と健康のかかわりについて理解し、働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる 【a・b・c】		行動観察 保健ノート	
9	3	9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活		・労働災害の種類と原因について例をあげて説明でき、労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。 ・仕事を選択する際に重要視することを議論できる。 ・前期の学習状況を自己評価する。【a・b・c】		行動観察 保健ノート	
	1	前期期末考査		○前期の学習状況についての評価【a・b・c】		総合評価	
10	3	健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策		・大気にかかわる地球規模の問題について説明できる。 ・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できる 【a・b・c】		行動観察 保健ノート	
11 12	4	4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動		・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・過去の公害を振り返る。 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて理解し、食品の安全性に関する課題を説明できる。 ・食品の安全性を確保するために気をつけることを説明できる。 【a・b・c】		行動観察 保健ノート	
1	4	7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用		・保健行政の役割について例をあげて説明できる。 ・医療機関の役割と医療保険のしくみを理解する ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。 【a・b・c】		行動観察 保健ノート	
2	4	10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加		・医療機関のかかり方について考え、議論できる。 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる ・後期の学習状況を自己評価する。【a・b・c】		行動観察 提出	
3	1	学年末考査		○後期の学習状況についての評価【a・b・c】		総合評価	

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	外国語（英語）	科目名	英語コミュニケーションⅡ	学年（文理）	2年（文理）	単位数（合計）	4（140）
使用教科書	BLUE MARBLE English Communication II（数研出版）			補助教材	共通テストリスニング分野別 10min.（エミル出版） 英単語 ターゲット 1900（旺文社） NEO 現代を読む（いっずな書店）		
指導目標	日常的な話題・社会的な話題を英語の言語活動を通じて学習することで、的確に情報や考えを理解したり適切に表現したりするコミュニケーション能力を育成する。						
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点				評価方法
4	10	Lesson 1 Leadership in Modern Times 英語の構文Ⅰ	・リーダーに関して、写真を参考にしながらやりとりすることができる。【a】 ・各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。【b】 ・自分の意見を話したり書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ リスニング
5	12	Lesson 2 The Diversity of Traditional Houses 動詞の形Ⅰ（時制）	・世界の住居に関して、写真を参考にしながら内容を理解する。【a・b】 ・写真を見て、内容の描写や状況の推測について表現している。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ エッセイ
6	1	前期中間考査	学習状況を振り返り、自己評価をする				
	13	Lesson 3 Improving Society with Avatar Robots 動詞の形Ⅱ（助動詞・態）	・デジタル機器に関して、写真を参考にしながら内容を理解する。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ リスニング
7	12	Lesson 4 Approaches to Food Waste 動詞の形Ⅲ（準動詞①）	・値引きされた食品について、写真を参考にしながら内容を理解する。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ リスニング
8	1	実力考査	学習状況を振り返り、自己評価をする				
	8	Lesson 5 Animals as Indispensable Partners 英語の構文Ⅱ（準動詞②）	・介助動物に関して、写真を参考にしながら内容を理解する。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト・ノート確認・ リスニング
9	12	Lesson 6 An Irish Poet on a Mission 英語の構文Ⅲ（関係詞）	・英語版「百人一首」カルタに関して、写真を参考にしながら内容を理解する。【a・b】 ・本文の内容を簡潔にまとめ、適切なつなぎ表現を用いて話したり書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト・ノート確認・ スピーチ
	1	前期期末考査	学習状況を振り返り、自己評価をする				
10	14	Lesson 7 Be Free from Gender Bias 英語の構文Ⅳ（比較）	・制服の男女差に関して、事実や自分の考えを整理して伝えたり、相手からの質問に答えたりする技能を身に付けている。【a】 ・各Part本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。【b】 ・自分の意見を話したり書いたりしようとしている。【c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ リスニング
11	1	後期中間考査	学習状況を振り返り、自己評価をする				
	13	Lesson 8 The Diminutive Giant Who Fought for Refugees 動詞の形Ⅳ（仮定法）	・「緒方貞子」に関して、写真を参考にしながら、その内容を理解する技能を身に付けている。【a】 ・写真を見て、内容の描写や状況の推測について表現している。【b】 ・写真を見て、内容の描写や状況の推測について表現しようとしている。【c】				行動観察・小テスト 確認・ノート 確認・
12	13	NEO 現代を読む History and Language	・英文を聞いたり、読んだりしてその内容を正確に理解することができる。【a】 ・文法事項を学ぶ。言語運用の知識を身に付ける。【a】 ・説明や物語を聞き手に正しく内容が伝わるように音読している。【b・c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ エッセイ
1	1	実力考査	学習状況を振り返り、自己評価をする				
	12	NEO現代を読む Education and Culture	・英文を聞いたり、読んだりしてその内容を正確に理解することができる。【b】 ・文法事項を学ぶ。言語運用の知識を身に付ける。【a】 ・自分で作成した文章を人前で発表できる。【a・b・c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ スピーチ
2	12	NEO 現代を読む Life and Society	・英文を聞いたり、読んだりしてその内容を正確に理解することができる。【b】 ・文法事項を学ぶ。言語運用の知識を身に付ける。【a】 ・説明や物語を聞き手に正しく内容が伝わるように音読している。【b・c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ リスニング
	1	学年末考査	学習状況を振り返り、自己評価をする				
3	3	NEO 現代を読む Nature	・英文を聞いたり、読んだりしてその内容を正確に理解することができる。【b】 ・文法事項を学ぶ。言語運用の知識を身に付ける。【a】 ・自分で作成した文章を人前で発表できる。【a・b・c】				行動観察・小テスト 確認・ノート確認・ リスニング

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	外国語（英語）	科目名	論理・表現Ⅱ	学年（文理）	2年（理）	単位数（合計）	1（35）
使用教科書	Genius English Logic and Expression Ⅱ （大修館）			補助教材	Steady Steps to Writing（数研出版） 英文法・語法 Vintage 4th Edition（いっずな書店）		
指導目標	スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落から成る文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして詳しく伝える又は伝え合うことなどができるようになる。						
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点				評価方法
4	3	Part I Unit 1 行きたい国 Unit 2 本の紹介	・漠然と「人々」を表す we、you など、非人称、形式主語の it、there 構文や受動態、無生物主語の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関する情報を整理して書くことができる【a・b】 ・学んだ言語材料を用いて、工夫して情報を書いて伝えようとしている。【c】				行動観察 小テスト確認
5	3	Unit 3 気になるニュース Unit 4 スポーツ	・現在時制・過去時制、未来を表す表現、進行形、完了形や不定詞、動名詞、名詞節を導く接続詞・疑問詞の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関して理由や意見を具体的に書くことができる【a・b】 ・学んだ言語材料を用いて、意見や具体例を書いて伝えようとしている。【c】				ノート確認 ライティング
6	4	前期中間考査	2か月間の学習状況を自己評価する。				ライティング
		Unit 5 地元の料理 Unit 6 励ましの手紙	・分詞、関係詞、不定詞や意志・推量・義務・必要性を表す助動詞の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関する情報を整理して書くことができる【a・b】 ・学んだ言語材料を用いて、工夫して情報を書いて伝えようとしている。【c】				
7	5	Part II Unit 1 幸せにするもの Unit 2 科学技術と生活	・列挙する表現、比較を表す構文や例をあげる表現、程度の差や変化を表す構文の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関して理由や意見を具体的に書くことができる【a・b】 ・学んだ表現を用いて、意見や具体例を書いて伝えようとしている。【c】				行動観察 小テスト確認 ノート確認 ライティング
8		Unit 3 自分史	・順序立てて述べる表現、時を表す構文の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関して論理の展開や構成を工夫して書くことができる。【a・b】				
		実力考査	・学んだ表現を用いて、成長の過程や変化を交えて、パラグラフを書こうとしている。【c】				
9	3	Unit 4 都会と田舎 Unit 5 環境問題	・対比対照する表現、類似を示す表現、譲歩を表す構文や結果を導く表現、原因を述べる表現、目的を表す構文の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関して説得力のある英文を書くことができる。【a・b】 ・学んだ表現を用いて、説得力のある説明を交えて、説得力のある説明を交えて、パラグラフを書こうとしている。【c】				
		前期期末考査	前期の学習状況について自己評価する。				ライティング
10	4	Part III Unit 1 社会をよくする行動 Unit 2 空き家問題	・話題を切り出す表現、関心を引く表現、次の話題に移る表現や焦点を1つに絞る表現、資料に注意を向ける表現、自分の考えを述べる表現を理解し、それらを用いた原稿を作成し、聴衆に伝わるようにスピーチすることができる。【a・b】 ・学んだ表現を用いて、テーマに関する内容について、具体例を交えて、スピーチしようとしている。【c】				行動観察 小テスト確認
11	4	Unit 3 理想の町づくり Part IV Unit 1 部活の是非	・引用する表現、グラフを説明する表現、話をまとめる表現や他の意見に理解を示しつつ自分の意見を主張する表現、他の主張を引用する表現を理解し、具体例を交えて、視覚資料を効果的に使いながら、聴衆に伝わるようにプレゼンテーションできる。【a・b】 ・学んだ表現を用いて、テーマに関する内容について、具体例を交えて、視覚資料を効果的に使いながら、聴衆に伝わるようにプレゼンテーションしようとしている。【c】				ノート確認 スピーチ プレゼン
		後期中間考査	後期中間考査までの学習状況について自己評価する。				ライティング
12	2	Unit 2 動物園・エコツアー Unit 3 留学の是非	・これまでに学んだ表現を用いて、論理の展開や構成を工夫して話し合って伝えることができる。【a・b】 ・これまでに学んだ表現を用いて、テーマに関する内容について、根拠や具体例を交えて、立論・反論・総括を論理的に組み立てた主張をしようとしている。【c】				行動観察 小テスト確認 ノート確認
1	3	実力考査	・描写文・説明文・議論型文の論理構成について理解し、これまでに学んだ表現を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝えることができる。【a・b】				ディベート ディスカッション
		Part V Unit 1 最近の出来事 Unit 2 未来の世に遺す	・これまでに学んだ表現を用い、読み手がわかりやすい理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して3つ以上のパラグラフで書こうとしている。【c】				ライティング
2	4	Unit 3 教育について					
3		学年末考査	1年間の学習状況について自己評価する。				ライティング

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	外国語（英語）	科目名	論理・表現Ⅱ	学年（文理）	2年（文）	単位数（合計）	2（70）
使用教科書	Genius English Logic and Expression Ⅱ （大修館）			補助教材	Steady Steps to Writing（数研出版） 英文法・語法 Vintage 4th Edition（いっいずな書店）		
指導目標	スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、複数の段落から成る文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして詳しく伝える又は伝え合うことなどができるようになる。						
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点				評価方法
4	6	Part I Unit 1 行きたい国 Unit 2 本の紹介	・漠然と「人々」を表す we、you など、非人称、形式主語の it、there 構文や受動態、無生物主語の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関する情報を整理して書くことができる【a・b】 ・学んだ言語材料を用いて、工夫して情報を書いて伝えようとしている。【c】				行動観察 小テスト確認
5	5	Unit 3 気になるニュース Unit 4 スポーツ	・現在時制・過去時制、未来を表す表現、進行形、完了形や不定詞、動名詞、名詞節を導く接続詞・疑問詞の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関して理由や意見を具体的に書くことができる【a・b】 ・学んだ言語材料を用いて、意見や具体例を書いて伝えようとしている。【c】				ノート確認 ライティング
6	8	前期中間考査	2か月間の学習状況を自己評価する。				ライティング
		Unit 5 地元の料理 Unit 6 励ましの手紙	・分詞、関係詞、不定詞や意志・推量・義務・必要性を表す助動詞の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関する情報を整理して書くことができる【a・b】 ・学んだ言語材料を用いて、工夫して情報を書いて伝えようとしている。【c】				
7	9	Part II Unit 1 幸せにするもの Unit 2 科学技術と生活	・列挙する表現、比較を表す構文や例をあげる表現、程度の差や変化を表す構文の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関して理由や意見を具体的に書くことができる【a・b】 ・学んだ表現を用いて、意見や具体例を書いて伝えようとしている。【c】				行動観察 小テスト確認 ノート確認 ライティング
8		Unit 3 自分史 実力考査	・順序立てて述べる表現、時を表す構文の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関して論理の展開や構成を工夫して書くことができる。【a・b】 ・学んだ表現を用いて、成長の過程や変化を交えて、パラグラフを書こうとしている。【c】				
9	6	Unit 4 都会と田舎 Unit 5 環境問題	・対比・対照する表現、類似を示す表現、譲歩を表す構文や結果を導く表現、原因を述べる表現、目的を表す構文の使い方を理解し、それらを用いて学習内容に関して説得力のある英文を書くことができる。【a・b】 ・学んだ表現を用いて、説得力のある説明を交えて、説得力のある説明を交えて、パラグラフを書こうとしている。【c】				行動観察 小テスト確認 ノート確認 ライティング
		前期期末考査	前期の学習状況について自己評価する。				ライティング
10	8	Part III Unit 1 社会をよくする行動 Unit 2 空き家問題	・話題を切り出す表現、関心を引く表現、次の話題に移る表現や焦点を1つに絞る表現、資料に注意を向ける表現、自分の考えを述べる表現を理解し、それらを用いた原稿を作成し、聴衆に伝わるようにスピーチすることができる。【a・b】 ・学んだ表現を用いて、テーマに関する内容について、具体例を交えて、スピーチしようとしている。【c】				行動観察 小テスト確認
11	8	Unit 3 理想の町づくり Part IV Unit 1 部活の是非	・引用する表現、グラフを説明する表現、話をまとめる表現や他の意見に理解を示しつつ自分の意見を主張する表現、他の主張を引用する表現を理解し、具体例を交えて、視覚資料を効果的に用いながら、聴衆に伝わるようにプレゼンテーションできる。【a・b】 ・学んだ表現を用いて、テーマに関する内容について、具体例を交えて、視覚資料を効果的に用いながら、聴衆に伝わるようにプレゼンテーションしようとしている。【c】				ノート確認 スピーチ プレゼン
		後期中間考査	後期中間考査までの学習状況について自己評価する。				ライティング
12	5	Unit 2 動物園・エコツアー Unit 3 留学の是非	・これまでに学んだ表現を用いて、論理の展開や構成を工夫して話し合って伝えることができる。【a・b】 ・これまでに学んだ表現を用いて、テーマに関する内容について、根拠や具体例を交えて、立論・反論・総括を論理的に組み立てた主張をしようとしている。【c】				行動観察 小テスト確認 ノート確認
1	7	実力考査 Part V Unit 1 最近の出来事 Unit 2 未来の世代に遺す	・描写文・説明文・議論型文の論理構成について理解し、これまでに学んだ表現を用い、論理の展開や構成を工夫して書いて伝えることができる。【a・b】 ・これまでに学んだ表現を用い、読み手がわかりやすい理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して3つ以上のパラグラフで書こうとしている。【c】				ディベート ディスカッション ライティング
		Unit 3 教育について					
3	8	学年末考査	1年間の学習状況について自己評価する。				ライティング

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名	情報	科目名	情報Ⅰ	学年（文理）	2年（文理）	単位数（合計）	2（70）
使用教科書	情報Ⅰ（数研出版）			補助教材	情報Ⅰ ステップアップノート（数研出版）		
指導目標		・効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 ・様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 ・情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。					
月	時間	主な学習内容（項目）	主な学習活動（指導内容）と到達目標・評価の観点				評価方法
4	5	情報とメディア 問題解決のプロセス	・情報の表現形式を変換すると、失われる情報やつけ加わる情報があることについて理解している。【a】 ・情報の価値や信頼性、情報を検証する方法について考え、判断し、その結果を適切に表現している。【b・c】				行動観察 ノート 実習課題
5	7	情報社会と法規・制度 個人情報の適切な利活用と保護	・個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的、内容について理解している。【a】 ・著作権などの知的財産権を保護することの必要性について考え、判断し、その結果を適切に表現している。【b】				行動観察 ノート 実習課題
6	7	情報技術の発展の光と影	・人工知能や IoT など、発展する情報技術と情報技術がもたらす社会の変化や経済の効率化について理解している。【a】 ・インターネットで情報を発信する際に注意すべき点について考え、適切に情報を発信している。【b・c】				行動観察 ノート 実習課題
7	7	情報のデジタル表現	・アナログ情報とデジタル情報の違い、ビット、バイトの概念について理解している。【a】 ・文字・画像・音声、動画をデジタルで表現する方法について考え、その結果を適切に表現している。【b】				行動観察 ノート 実習課題
8	2	情報デザイン	・情報の抽象化・構造化・可視化など、情報を適切に表現するために必要な知識を身につけている。【a】 ・コミュニケーションの目的や受け手の状況に応じて、情報をどのように活用・表現すればよいのか考え、その結果を適切に表現している。【b】				行動観察 ノート
9	5	プレゼンテーション	・プレゼンテーションの実施や資料作成のための知識を身につけている。【a】 ・プレゼンテーションの目的や対象者をふまえて、効果的なプレゼンテーションとなるよう考えている。【b・c】				行動観察 ノート 実習課題
10	8	コンピュータの構成	・コンピュータの基本的な構成について理解し、基本的な操作ができる技能を身につけている。【a】 ・コンピュータの中のCPUやメモリ、補助記憶装置等の機器の役割・能力を適切に判断することができる。【b】				行動観察 ノート 実習課題
11	8	プログラミング	・問題解決の手順・解法をアルゴリズムを用いて表現し、フローチャートやアクティビティ図を用いて表現する技能を身につけている。【a】 ・アルゴリズムを適切なプログラミング言語と適切な記述で表現している。【b】				行動観察 ノート 実習課題
12	5	モデル化とシミュレーション	・モデル化を問題解決に活用する方法を理解し、そのための技能を身につけている。【a】 ・モデル化のプロセスに従って、問題を考察し、判断している。【b】				行動観察 ノート 実習課題
1	6	ネットワーク	・LAN、WAN、インターネットの構造、コンピュータを接続するために必要な技能を身につけている。【a】 ・インターネットなどのコンピュータによる通信とその利便性について考えている。【b・c】				行動観察 ノート 実習課題
2	8	データベース	・データベースを活用したさまざまな情報システムについて理解している。【a】 ・データの形式を適切に判断し、性質や目的によってデータの形式を使い分けすることができる。【b】				行動観察 ノート 実習課題
3	2	データの分析	・度数分布表とヒストグラム、データの代表値、欠損値、異常値、外れ値などの定義や意味を理解している。【a】 ・データの形式を適切に判断し、性質や目的によってデータの形式を使い分けすることができる。【b】				実習課題

令和7年度「指導と評価の年間計画」

岐阜県立大垣北高等学校

教科名等	総合的な探究の時間	名称	SD探究2	学年（文理）	2年（文理）	単位数（合計）	1（35）
使用教科書			補助教材等	本校オリジナル教材、SGH・FRH事業購入書籍			
指導目標	・自ら設定した課題の解決に向けて果敢に挑戦する態度や、仲間と協働して多面的・多角的に思考する態度を身に付けさせる。 ・グループ設定課題の解決に向けて果敢に立ち向かう態度を身に付けさせる。 ・自らの意見を、数値や統計データを用いて論理的に説明する力を身に付けさせる。						

月	時間	主な学習内容(項目)	主な学習活動(指導内容)と評価規準	評価方法
4	3	◆「SD探究2」のオリエンテーション ◆修学旅行を活用した課題探究 ・修学旅行に関するオリエンテーション ・旅行地に関する調べ学習	・「SD探究2」の授業目標や1年間の学習計画を理解する。 ・修学旅行の目的・意義、及び探究の流れを理解する。 ・現地の産業・観光・文化・環境などのテーマに基づき、現状と問題点及び、その原因を探索。	・生徒の活動の観察 ・生徒による自己評価
5	4	・グループ探究テーマ決定 ・旅行計画書の作成 ・グループテーマに関する調べ学習 ・平和に関する調べ学習 ・平和に関する講義 ・報告書の作成	・個別学習を踏まえ、ワークショップにより持続可能な開発に関わる探究テーマをグループで決定する。 ・グループテーマに基づき、個人学習によって、沖縄の基本情報を獲得して産業や文化の特徴を把握し、町の抱える課題を発見する。 ・研修の共通テーマ「平和」について、調べ学習や講義を通して、認識を深める。 ・グループで調査した内容を報告書としてまとめ、発表する。	・生徒の活動の観察 ・生徒による自己評価 ・学習シートによる評価 (仮題・調査項目等の質) ・報告書の評価 ・発表に対する生徒による ルーブリック評価
6	4	◆データサイエンスに関する講演 ◆グループ課題に関する探究 ・昨年度の探究の振り返り ・先行研究、書籍調査	・データサイエンスに関する基礎的な知識や具体的な先行研究を知り、グループテーマ設定に繋げる。	・生徒の活動の観察 ・生徒による自己評価 ・学習シートによる評価 (個人学習によって発見した課題の質と量)
7 ・ 8	2	・探究グループの編成	・興味、関心のある分野毎にメンバーを組み、グループとする。	・学習シートの評価 (講義から得た知識)
9	3	・データ収集、データ分析 ・研究テーマの設定、計画書の作成 (仮説の設定、リサーチクエスションの設定) ・SDGsに関する学習 ・先行研究の調査	・グループ毎に設定したテーマに基づき、調査を行う。 (アンケート、現地調査、インタビューなど)	・生徒の活動の観察 ・生徒による自己評価 ・学習シートの評価 (講義から得た知識) (個人学習によって発見した課題の質と量)
10	4	・研究課題の現状調査(What) ・研究課題の現状に対する背景調査(Why) ・研究課題の改善策提案(How)	・課題探究のための適切な問い(リサーチクエスション)を設定する。 ・個人探究課題を設定して、「仮説」「リサーチクエスション」「検証に必要なデータ」等を含む探究計画書を作成する。	(他者との協働で獲得した情報の内容)
11	4	・研究計画書の作成 ・ゼミ指導 ・探究レポートの作成	・計画書に基づいてデータを収集し、研究の方向性を決定して、探究レポートを作成する。	・探究計画書、ゼミを含む 取り組み状況に関するルーブリック評価 ・探究レポートに関する ルーブリック評価
12	4	◆プレゼンテーション講演会	・計画書に基づくゼミ指導を行い、クラス内で意見交換を実施する。 ・ゼミ指導に基づいて研究内容に修正を加え、探究レポートを作成する。	
1	3	◆ポスター作成	・探究成果を効果的に相手に伝達するためのプレゼンテーションの準備を行う。 ・プレゼン交流を行い、代表者を決定する。	・プレゼンテーションの 質に関するルーブリック 評価
2 3	4	・グループ発表 ・クラス内発表会 ・全学年発表会	・グループ代表者によるクラス内プレゼン発表会を行う。 ・1年間の学習成果をまとめる。	